

2018 年度第 2 回委員会 (2019. 5. 21) 議事録 (案)

◎前回議事録確認【別紙-1】 pp.1-4

内容報告→了承

◎報告事項

1. 会員支部部会、理事会の状況 (北田理事) 口頭にて報告

- ・ 2019 年度予算については、6/7 の理事会で承認予定
当委員会予算については予算案の通り承認される見込み
- ・ 昨年度決算について (報告)
学会全体として 200 万円の赤字であった
→原因は複数あるが、最も影響が大きかったのは講習会費で、募集人員に対し参加者が少なく会費収入が予定を下回った事例が多かった模様
→理事会として、会費の見直しを審議中。「ダイバーシティ促進のための会費減免」のうち、30 代女性の減免措置は今後廃止の方向。
→学会の会員名簿データベースについて、2018 年度下期より見直し作業中。これまで、「会費」の名簿と「会員情報」の名簿が別々に存在していたのを統合し、例えば、学生会員が社会人になった際に引き続き正会員としての在籍を遡及する案内が配信できるよう改善する。

2. 他学会の状況

○土木学会 (平永委員) 口頭にて報告

- ・ 令和元年発足 (5 月 1 日) に合わせて土木学会より提言「22 世紀の国づくり」が発表された。
- ・ 2019 年 5 月 30 日 (木) 午後、「坑内労働規制に関するシンポジウム」開催予定。
「女性技術者」の坑内労働禁止は以前撤廃されたが、いまだ「女性技能者」の坑内労働は禁止されたままである (法律上残っている)。現在、条項撤廃に向けて厚労省、国交省、土木学会ダイバーシティ委員会が協力して実務作業を進めており、その報告と、女性の坑内労働に関する関係機関同士の議論がなされる予定。
- ・ 土木学会 D & I ウイーク (ダイバーシティ & インクルージョンを考える 1 週間) を 9 月に土木学会本部 (四ツ谷) で実施予定
- ・ 女性土木技術者のビデオライブラリーを作成中。第一弾として、正木啓子さん (元大阪府)

にインタビュー実施、ビデオライブラリーとして土木学会図書室に保管予定

○男女共同参画学協会（中本委員） 口頭にて報告

- ・女子中高生夏の学校の開催アナウンス（2019年8月9日(金)～11日(日)）と参加要請があった。

3. ダイバーシティ座談会 実施報告【別紙-2】（藤原委員、代理で北田委員報告） pp.5-9

- ・参加者が12名+委員が8名と、本音を語るにはちょうどいい人数であった。自己紹介だけで1時間以上かかった。
- ・参加者から寄せられた感想も高評価なものが多く、「昼間開催で参加しやすかった」「子育て経験者や他社の情報を聞いたことがよかった」などの声が寄せられた。
→これを受けて、今年度の全国大会での特別セッションは、「育児・介護にかかわる制度比較」を叩き台に議論するとの方針が決定された。

4. 第53回地盤工学研究発表会

○特別セッション（片岡委員長） 【別紙-3】 pp.10-11

- ・2019年7月16日（火）午後I 13:20～14:50
- ・会場（第2会場）は収容人数が180名（かなり広め）のため、委員での集客が必要
- ・プログラムとしては3部構成で、片岡委員長の発表、日下部先生の「地盤工学会ダイバーシティの歩み（仮）（日下部先生内諾済）」の後、上記で紹介した制度比較表をたたき台にフロアディスカッション「誰もが働きやすい会社を目指して」を開催予定
- ・制度の比較表については、6月初旬までに委員がまずは情報入力→片岡委員長に送付その後、6月中旬にサポーターにメール、協力依頼。6月末の集計を考えている。

○サロン・土・カフェW（熊野委員）【別紙-4】 pp.12-20

- ・特別セッションの後の時間（15:10～16:40）で開催
- ・会費300円、今回の会場（ソニックシティホールの4階国際会議室前）は飲食禁止なので、お菓子持込みは推奨しない。参加者30名程度を想定、10,000円の予算での「飲み物+お菓子」準備を実行委員会に手配済
- ・地盤工学会誌6月号に案内を掲載予定。全国大会のしおりとHPには掲載済。
- ・会長・副会長への出席の打診は熊野先生が今後行う。
- ・委員は当日、会場の事前準備、カフェ運営中の各テーブルでの書記と発表、片付けなどに参加、協力する。

5. 技術者紹介のWEB版配信状況（渡邊委員、代理で片岡委員長説明） 【別紙-5】 pp.21-

- ・web 版更新の報告があった（藤川先生の手稿）

6. サポーターメール配信状況（藤原委員、代理で片岡委員長説明） 【別紙-6】 p.24

- ・2 件（ダイバーシティ座談会、技術者・研究者紹介 web 版更新）の配信があった旨の報告があった。

7. HP 更新状況（片岡委員長） 口頭にて報告

- ・HP 更新は現在は停止の状況。今後、HP 担当委員を決めて、定期的に更新をしていきたいと考えている。

◎審議事項

1. 女子中高生夏の学校について（片岡委員長） 【別紙-7】 pp.25-27

- 今年度の日程は 8 月 9 日（金）～11 日（日）国立女性教育会館にて
- 審議事項：委員会として、今年度（および今後の）夏の学校の参加をどうするか？ 参加するとしてもポスターセッションの参加とするか、実験の参加とするか。
 - ・毎年、委員有志の協力により参加しているが、関東在住の委員が担当することが多く、かつ実験の準備など負担が大きい。
 - ・負担が大きい割に、どの程度の効果があるか分かりづらい。
 - ・今年参加するとすれば 8 月 10 日（土）であるが、対応可能な委員はいるか。
また、ポスター展示のみか、実験も参加するか。
→実験は、これまで実施した泥だんごや液状化実験など、参加者は興味を持ったと思うが、事前申し込みが必要などの理由で参加できる人数が 6 名程度と、非常に限定されてしまう。
 - ポスター展示であれば、実験に比べれば準備の負担が少ない。また、ポスターだけでなく他の展示もセットにすれば、これまでよりは集客が見込めるかもしれない。
- ・以上の議論をうけて、今年は、ポスター展示のみ参加することとなった。
委員会後に、片岡委員長→委員へ、出欠確認を行う。

2. その他

- 2019 年度の委員について（片岡委員長） 口頭にて報告
現在、交代含め調整中、後日正式に発表予定。

以上